

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

ビゼー: 歌劇「カルメン」第1組曲

BIZET: "Carmen" Suite No.1

ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26

BRUCH: Violin Concerto No. 1 in G minor, op. 26

フランク: 交響曲 ニ短調

FRANCK: Symphony in D minor

フランク 交響曲

人生は愛おしい。

歩んできた過去を顧みながら、
全ての音に生命を吹き込む……

渾身のタクトで聴衆を魅了し続ける名匠
79歳、円熟期を迎えた“炎のマエストロ”

指揮= 小林研一郎

Conductor = KEN-ICHIRO KOBAYASHI

©読響

ブルッフ
ヴァイオリン協奏曲

読売日本交響楽団 第623回 名曲シリーズ
Popular Series, No. 623

2019年 6月18日(火) 19時開演

サントリーホール

Tuesday, 18th June 2019 19:00 / Suntory Hall

SY7,500 AY6,500 BY5,500 **SOLD OUT**

今年2月にニューヨーク・フィルにデビュー!
艶やかな音色で人気急上昇中の新鋭

ヴァイオリン= キム・ボムソリ

Violin = BOMSORI KIM

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時~18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

©Jaeyoung Heo

名匠・小林研一郎

渾身のタクト

11年ぶりに取り上げる

フランクの傑作



“コパケン”の愛称で親しまれている世界的指揮者。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第1位。欧州の一流楽団を多数指揮しており02年の「プラハの春」音楽祭では、東洋人として初めて開幕コンサートに招かれ「わが祖国」をチェコ・フィルと演奏。ハンガリー国立響の音楽総監督、チェコ・フィル常任客演指揮者などを経て、日本フィル桂冠名誉指揮者、九響名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、東京芸術大学、東京音楽大学、リスト音楽院の名誉教授などを務める。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。オクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリース。

小林研一郎 (指揮)

Ken-ichiro Kobayashi, conductor

“炎のマエストロ”と呼ばれ、熱い音楽作りで人気を博している小林研一郎は、現在79歳。まさに円熟期を迎えている。近年、彼の指揮する姿に「希望への祈り」を感じる瞬間が増えてきた。熟練の極みにある名匠は、彼にしか紡げない音楽で会場を特別な雰囲気で見守り、静かに熱い涙を誘う。

そんな小林が読響との演奏を熱望した曲が、フランクの交響曲だ。19世紀後半のフランスを代表する交響曲として録音などで知られるものの、日本でも演奏機会は非常に少ない。小林が取り上げるのも2008年のチェコ・フィルとの録音以来、実に11年ぶり。「深い信仰心に溢れた素晴らしい曲。もっと日本でも多くの人に知ってほしい」と想いを強くし、満を持して演奏する。

この交響曲は、ベルギーの作曲家フランクが晩年に完成させた傑作。何度も繰り返されるテーマが印象深く、荘厳で堂々たる響きが魅力的だ。主題やモチーフを繰り返し用いる「循環形式」で書かれており、まるで過去の出来事や思い出が何度もフラッシュバックし、自分の人生を振り返るような構成になっている。第1楽章は陰鬱で重苦しい雰囲気で始まるが、徐々に変化し、素朴な美しさに満ちた第2楽章へと続く。最終楽章では人生を謳歌しているような輝かしい歓喜の高揚感で満たされ、力強いフィナーレを迎える。小林は「自分の歩んできた人生を振り返りながら進み、ゆっくりと音を慈しむように演奏したい」と抱負を語っている。小林の長年の想いが詰まった演奏は、明日への希望として響き、深い感動を呼ぶだろう。

ブルッフのヴァイオリン協奏曲でソロを務めるのは、キュートな笑顔で人気沸騰中の新星ボムソリ。ミュンヘン国際コンクール最高位など多くの受賞歴を誇り、今年2月にはニューヨーク・フィルにデビュー、さらに名門ドイツ・グラモフォンからCDをリリースするなど、勢いに乗っている若き実力派だ。ブルッフの甘美で哀愁を帯びた名旋律を、情感豊かに歌い上げるだろう。躍動感あふれる、熱狂的なラストも聴きものだ。

演奏会はビゼーの「カルメン」第1組曲で華やかに幕開けする。



キム・ボムソリ (ヴァイオリン)

Bomsori Kim, Violin

今年2月、ニューヨーク・フィルへのデビューを果たした新鋭。韓国生まれ。ソウル大学を経て米国ジュリアード音楽院に学ぶ。ミュンヘン国際コンクール最高位、ヴェニツァフスキ国際コンクール第2位、モントリオール国際音楽コンクール第2位、仙台国際音楽コンクール最年少受賞など受賞多数。これまでにカस्पシク、ズヴェーデン、リントウらの指揮で、バイエルン放送響、北ドイツ放送響、モントリオール響、ワルシャワ国立フィル、フィンランド放送響などと共演している。今夏にはルツェルン音楽祭、ラインガウ音楽祭などに出演する。CDをワーナー・クラシックスとドイツ・グラモフォンからリリースし、好評を博している。

読売日本交響楽団 第623回 名曲シリーズ

2019年 **6月18日** (火) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C **6,000**

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017